

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,280,730	5,512,091
未収金	3,150,000	3,150,000
合 計	8,430,730	8,662,091
未払金	173,736	161,067
預り金	92,513	32,550
合 計	266,249	193,617
次期繰越収支差額	8,164,481	8,468,474

3 科目間の流用について

予算科目のうち 事業活動支出 事業費－事業推進会議費支出より 310 千円を事業費－広報費支出へ 160 千円、事業費－茨城・栃木・群馬三県商工会議所交流会議費支出へ 150 千円(注 1)それぞれ流用、また、管理費－渉外費支出より 350 千円を管理費－消耗品費支出へ 70 千円、管理費－修繕費支出へ 210 千円、管理費－車両維持費支出へ 70 千円(注 2)それぞれ流用した。

(単位:円)

科目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業活動費支出			
事業費－広報費支出	700,000	160,000	860,000
事業費－茨城・栃木・群馬三県商 工会議所交流会議費支出	300,000	150,000	450,000
事業費－事業推進会議費支出	1,800,000	△ 310,000	1,490,000
事業活動費支出			
管理費－消耗品費支出	450,000	70,000	520,000
管理費－修繕費支出	50,000	210,000	260,000
管理費－車両維持費支出	50,000	70,000	120,000
管理費－渉外費支出	600,000	△ 350,000	250,000